



新栄だより vol.14



北陸新幹線開業 -新たな未来の始まりです-



▲改札口手前のフロアシャンデリア

(写真：工事部・高橋)



北陸新幹線は、昭和40年9月に金沢市で開催された当時の政府の「一日内閣」で佐藤栄作総理大臣(当時)の出席のもと、「北陸新幹線」の建設について、富山県代表の岩川毅氏(当時砺波商工会議所会頭)が要望してから、約半世紀の歴史を経て、このたび3月14日に開業致します。

北陸新幹線開業の北陸経済に与える経済効果は、富山-東京間を2時間8分で運行されるスピードが、富山・石川県民の時間の使い方に大きな影響を与えるだろうと言われています。

具体的な経済効果は、北陸経済研究所の試算では、富山県の経済効果は118億円、石川県は182億円と調査されています。

さて、新幹線富山駅のデザインイメージは「静謐(せいひつ)な雪にたたずむ木立の駅」です。建物は白い雪の中に立山杉が凧としてそびえる印象を与える建物となっています。

当社は、北陸新幹線の富山駅の整備工事として、富山のガラス工芸を活用したアートガラスパネルに照明を当て華やかな雰囲気演出させる富山駅高架下路面電車停留場壁面設置工事、そして富山駅南北自由通路等整備工事では、フロアシャンデリアなどの照明と電気設備工事を施工させて頂きました。今回、新幹線富山駅の整備に形を残せる仕事をさせて頂き、感謝しています。

北陸新幹線開業を機に、北陸経済が大きく発展して、富山県が更に発展致しますよう祈念しています。

(営業企画部・小林)



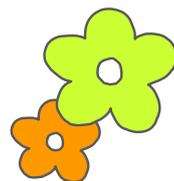
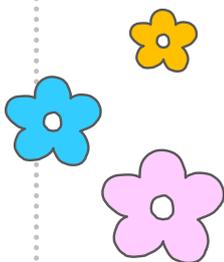
▲新幹線 E7系/W7系 かがやき



▲新幹線の高架下に乗入れる路面電車停留場の壁トランジット・ライティング・ウォール

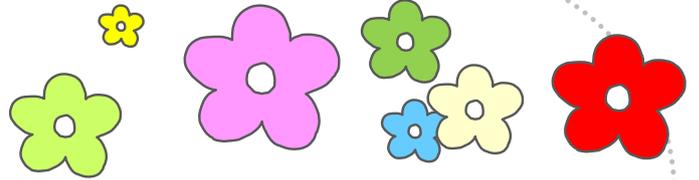


▲新幹線富山駅前の様子





ご存知ですか？ 富山駅の歩み



▲明治32年 開業当初の富山停車場



▲大正2年頃 富山駅を直江津に向けて出発する列車



▲昭和35年頃の富山駅前

官営の北陸線は、敦賀-金沢から延長され、1899年(明治32年)3月20日に高岡-富山間が開通しました。東京には米原経由で24時間かかりました。また、同年4月には富山市内に初めて電灯が灯されました。そして1908年(明治41年)11月16日に富山-魚津間が開業、富山駅は現在の位置に移転しました。

1913年(大正2年)4月1日、北陸線の米原-直江津間が全線開通しました。富山-東京間の距離は約692Kmから約410Kmに短縮され、所要時間は14時間台にスピードアップしました。北陸線の全線開通により、関東方面との経済交流が活発化しました。

終戦から8年を経て、富山駅は1953年(昭和28年)に商業施設が入る近代的な駅に生まれ変わりました。また、富山市・高岡市が重要鉱工業地帯へ指定され、北陸本線は一部複線化し、更に有峰ダムが完成、電力県として近代化を進めます。



▲富山駅前の北陸新幹線建設促進アピール塔(左)
新幹線のルート内定の北日本新聞記事(右)

1972年(昭和47年)6月に新幹線の基本計画が決定され、1973年(昭和48年)10月に鉄道建設審議会に諮問されました。当時は、長野-高田-富山-若狭というルートで、1979年(昭和54年)の開業を目指していました。また、1973年10月16日、県内初の高速道路である北陸自動車道の小杉-砺波間が開通し、交通面においても、富山県は躍進しました。



▲平成元年頃のJR富山駅前

JR富山駅前の道路は、1987年(昭和62年)に三点交差式のすっきりとした姿に生まれ変わりました。翌年7月にはJR富山駅も化粧直しを終え、駅全体が華やきました。石油ショックや国鉄再建問題で20年近くも整備計画が凍結されてきた北陸新幹線は、1989年8月、北陸新幹線の加越トンネルの本工事に備える調査工事に着手し、本格工事が始まります。

資料：富山県立図書館蔵「ふるさと富山市」「新聞に見る20世紀の富山」
「写真集 富山県100年」「富山百年 富山県」



今年は富山県となって132年。

その間、産業の発展、農業の改良、日露・太平洋戦争を経て、富山県は電力県として工場の進出、教育・文化面で発展してきました。また、交通網の充実、県内はもちろん、東京・大阪との直結や他県との繋がりで欠かせないものでした。

志の強い多くの先人達の努力で、その時代時代の交通ネットワークが進歩してきました。

いよいよ3月14日、北陸新幹線が開通します。東京・長野・新潟とのつながりが、スピードという言葉でより身近になります。

北陸地区の希望と期待の新しい時代の幕開けとなります。

(工事部・上沢、大山)



お客様紹介

+ 富山赤十字病院様 既設照明器具LED化工事



富山赤十字病院様は、1907年(明治40年)日本赤十字社富山支部病院として、富山市総曲輪で診療を行ったのが始まりです。今年開院108年を迎えられた富山県で最も伝統ある病院です。

牛島本町の現在の富山赤十字病院様は、新築移転されて19年経過したこと、そして2011年(平成23年)の東日本大震災以降、エネルギー事情の変化や社会構造の変化もあり、省エネルギー・メンテナンス性を考慮され、今回、照明器具のLED化工事を計画されました。

この工事は、当初は、富山赤十字病院様からのご依頼で、ナースステーション1ヶ所だけの工事でしたが、その後、省エネ・メンテナンス性の効果が確認されたとのことで、今回、各階のナースステーションでも工事させて頂く事となりました。

患者様対応をされている重要なナースステーション内の特殊な環境での作業となりました。私共でも1回目の施工実績をもとにした事前検討会を実施し、問題が起こらないようにリスクアセスメントを行いました。

＜具体的な検討事項は下記のとおりです＞

- ① 富山赤十字病院様と搬入搬出計画を事前に入念に打合せする。
仮資材置き場や廃棄物置き場をどのように確保するか、検討し、打合せする。
- ② 実施工程表を作成・提出し、事前に工事日程を把握して頂く。
- ③ 看護師長様へ、各箇所ごとに工事着手可能かを確認し、了承を頂いてから施工を開始する。
- ④ 施工範囲は素早く養生にかかり、掃除まで完了してから次の施工箇所へ移動する など…



今回の工事では、普段とは異なる状況の中、問題無く施工が実施され、お客様にご迷惑がかからなかったことが特に良かった点でもあり、新人である当社姫野の頑張りや施工を行った島田電設様の気遣いが、より良い結果につながったのではないかと思います。富山赤十字病院の関係者の皆様に感謝申し上げます。ご指導有難うございました。

(工事部・柿谷)

★ 今回の照明器具LED化工事による効果 ★

●4階東 施工前	●4階東 施工後
 <ul style="list-style-type: none"> 埋込下面解放・FL40W×2灯(白色) 定格ランプ消費電力 74W 全光束 3,560lm 色温度 4,200K 定格寿命 12,000時間 	 <ul style="list-style-type: none"> ライトバー付・LED 5200lmタイプ(昼白色) 定格ランプ消費電力 38.9W 全光束 5,200lm 色温度 5,000K 定格寿命 40,000時間 <p>消費電力 48%ダウン メンテナンスコスト 約3分の1まで削減</p>

●9階東 施工前	●9階東 施工後
 <ul style="list-style-type: none"> ダウンライト FDL18W(白色) 定格ランプ消費電力 18W 全光束 1,070lm 色温度 4,200K 定格寿命 6,000時間 	 <ul style="list-style-type: none"> ダウンライト LED 1015lm(昼白色) 定格ランプ消費電力 10.1W 全光束 1,015lm 色温度 5,000K 定格寿命 40,000時間 <p>消費電力 44%ダウン メンテナンスコスト 約6分の1まで削減</p>

※全光束…ある面を通過する光の明るさを表す、物理量(ルーメン)
※色温度…光の色を数値化した単位のことを指します(右図参照)

赤・黄色	白色	水色	青色
2,000K 朝日・夕日	5,500K 普通の太陽光線	12,000K	16,000K

工 事 部 近 況 報 告



▲盤のチェックをしています

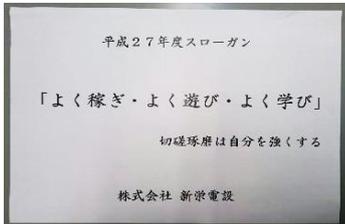
昨年4月に入社して10ヶ月が経ちました。この10ヶ月で多くのことを経験し、学ぶことができました。入社してすぐに入らせてもらった鶴寿苑様の現場では、電気のごことは全然分からない状態での仕事でしたが、現場の厳しさと楽しさを学ぶことができ、とても良い経験になりました。

現在は竹本容器様の現場の対応をさせて頂いております。こちらの現場では、図面を一から書き、内装工事の大半を任せられました。自分の書いた図面に配線を行い、図面通りに電気がついた時は、大きな達成感があり嬉しかったです。その一方で、何回か重大なミスになりかけ、ヒヤリとしたこともありました。その度に、職人さんをはじめ、色々な方に迷惑を掛け、助けて頂きました。今回の現場でうまくいった所もフォローしてもらった所も、今後の仕事に活かしていきたいです。

この10ヶ月は多くの方に迷惑をかけ、助けて頂きました。今まで助けて頂いた方に少しでも役に立てるよう、これから多くの仕事を覚え、早く一人前になりたいと思います。

(工 事 部 ・ 姫 野)

総 務 部 近 況 報 告



▲今年度のスローガンです

今年1月31日に砺波ロイヤルホテルにて、平成27年度の経営計画発表会を行いました。毎年、1月の最終土曜日に全社員出席して行います。経営計画発表会とは、社長が経営計画書に基づいて“今年度の方針”や“今年度の目標”等の発表を行い、会社の目標を達成するために、社員が今年度どんな目標を立てて結果を出すかを再度確認する場でもあります。とても厳粛な場で、緊迫した空気が流れます。今年は、株式会社アイバック代表取締役小沢伊弘様をお招きしての発表会となったため、より緊迫した空気が流れていました。最後に、小沢様より、お客様に信頼して頂ける会社になるための課題をご指摘いただき、気の引き締まる思いで発表会を終えました。

その後、時期は少し遅いですが、1泊で新年懇親会を行い、2次会、3次会…。

皆で楽しい時間を過ごし、今年度も頑張ろうと誓い合いました。

(総 務 部 ・ 酒 井)

★ IH 簡単クッキング ★



雛祭りに作りました♪簡単いちご桜餅

<材料> 4~5個分
(今回は3倍量使用しています)
・白玉粉 20g
・小麦粉(薄力粉) 30g
・水 80CC
・砂糖 小さじ1/2~1
・塩 1つまみ
・食紅(赤) 少々
・餡 60g~
・苺

(・桜の葉の塩漬け 4~5枚)



簡単茶碗蒸しが出来ます♪



<材料>
・卵 2個
・粉末うどんスープ(すがきや) 1袋
・水 400CC
・かまぼこ、しいたけ、みつ葉 適量



① いちごを餡で包む
(塩漬けの桜の葉を使う場合は塩出しして水気を切る)



② 白玉粉・砂糖・塩を先に少量の水で溶く(小麦粉は同時に入れない)その後、小麦粉を入れ、食紅を少し入れる



③ フライパンを熱し、生地を入れ、蓋をして、IHの弱火2で6分間焼く



④ クッキングシートの上で熱を冷まし、餡を包む
(桜の葉で包む)
(工 事 部 ・ 上 沢)



① 卵・粉末うどんスープ・水を混ぜ合わせ、卵液を作る



② 茶碗に具材を入れ、みつ葉をのせる



③ お湯をはった鍋に並べ、タイマー機能を使い、強火で2分、中火の弱めで5分間蒸して出来上がり
(IHなら布巾をそのままかぶせても安心です!)

(工 事 部 ・ 大 山)

社 長 よ り ご 挨拶

北陸の厳しい冬の寒さの中にも、ようやく春の気配を感じる今日この頃です。

各位には益々ご清祥のこととお喜び申し上げます。

いよいよ3月14日に富山県民待望の北陸新幹線が開業します。北陸新幹線の富山-東京間は2時間8分のダイヤです。北陸新幹線のこのスピードは北陸経済に大きく寄与するものと期待しております。

さて、当社は毎年1月に経営計画の発表会を開催し、その場で1年間のスローガンも発表しております。本年度は「よく稼ぎ・よく遊び・よく学び」切磋琢磨は自分を強くする。をスローガンとしました。継続的に企業が成長を続けるためには、会社の成長と社員一人ひとりの生きがいと結びつける事が大切だと考えます。そこで本年度のスローガンは、会社の目標と社員の生きがいを共有し、共感できるようにと考え決定致しました。仕事ばかりだと疲れてくる。仕事と遊びは両輪であり、学びは潤滑油。企業発展には人材育成が最も大切だと考えております。

「新栄だより」は社員の手作りです。社員一丸となってお客様のお役に立つため精進したいと思っております。皆様のご指導ご鞭撻を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

(代表取締役社長・清田)

発行元

株式会社新栄電設

〒930-0953 富山県富山市秋吉37-2 TEL:076-491-5113 FAX:076-491-5118

(編集・校正:小林・柿谷・上沢・酒井・高橋・大山・西沢・姫野)

2015年3月2日発行